

## 第58回 北九州市福祉有償運送運営協議会 議事録

日時:令和5年6月20日(火)15:00~16:00

場所:北九州市立福祉会館12階 121・122会議室

出席者:構成員7名(敬称略)

副会長:貞包(北九州タクシー協会)、古賀(北九州市障害福祉団体連絡協議会)、赤松((代理)福岡運輸支局)、中村(自交総連福岡地方連合会)、山田(NPO法人通院介護センター「さわやか」)、原口(西鉄バス北九州株)、明石(北九州市地域福祉推進課)

(事務局)平田(北九州市地域福祉推進課)

### 議題1 福祉有償運送実施団体の変更に関する協議・報告事項について

事務局から、福祉有償運送実施団体(7団体)の変更に関する協議・報告事項について説明を行い、構成員の意見及び承認を得た。

#### 【質疑応答】

(副会長)事務局からの説明について、ご意見、ご質問はないか。

(構成員)自動車登録簿にて、書き間違いだと思われるが、車検証の有効期限切れが2台、損害賠償措置欄の人身傷害保険を搭乗者傷害保険との記載誤りがある。確認すること。また、利用会員名簿の作成時点が、令和4年12月31日、令和5年3月31日現在と統一されていないものがある。確認すること。

(事務局)再度確認する。

(副会長)他にご意見がなければ、「福祉有償運送実施団体の変更に関する協議・報告事項」について、ご了承いただけるか。

(了承)

### 議題2 福祉有償運送実施団体の年間報告について

事務局から、福祉有償運送実施団体(9団体)の令和4年度福祉有償運送実施団体の年間報告を行い、構成員の意見及び承認を得た。

【質疑応答】

(副会長) 事務局からの報告について、ご意見、ご質問はないか。

(構成員) 収支報告書の書き方に基準はあるのか。

収支が合っているところと、合っていない赤字のところがある。

(構成員) 大体赤字の団体が多いと思うが、その赤字を埋めるために助成金をいただいているということだと思う。

(構成員) 助成金が記載されているところとないところがある。

(構成員) 助成金をもらわない団体もあるようだ。

(構成員) 単純に収支が合わないのに運営しているのは大変だと思うし、それに対して母体があればそこから繰入金があるのだろうと推測しかできない。

代表からお金が入っている等の理由があるならそれはそれで良い。

ビジュアル的に見て、マイナスのところもあるので、大丈夫なのかなと思う。

(構成員) ほとんどの団体は大丈夫ではないと思う。私の団体のことをいうと、北九州市の小規模共同作業所の助成金をいただいて、従業員の給料や家賃だとかを出している。あとはこちらの送迎収入のみである。

他の団体も、介護保険などの事業所をされているところも多々あるので、多分そういう形でまかなっていると思う。

(構成員) 各団体でいろいろな事業をしている中で、そういう組み合わせた運営の仕方をしているということか。

(構成員) そうだと思う。福祉有償運送というのは介護保険の隙間のところ、介護保険を使いたいけど使えないとか、そういう人たちの通院送迎だとかお買い物だとか、そういうお出かけを助けるようなシステムになっている。ただ、介護保険が全く関係ないというわけではなく、高齢者の場合、要介護1~5の方を対象としている。あとは身体障害者手帳、精神障害者手帳、療育手帳を持っている方も対象。

また、介護保険や手帳等を持っていない方でも、そういう通院とかお出かけをするのに福祉有償運送を使えるようにはなっている。

(事務局) 補足すると、難病であったりとか、そういった形で同等程度に、移動が難しいという方については対象となる。その代わり協議会で確認を取ることになる。

また、先ほどの収支の突合が合っていないところがあるということだが、これを出すのに各団体非常に苦勞して出しているようなので、これまで、あまり細かいところまで事務局から申し上げていなかった。ただ、他の事業をしていて、同じグループからのお金を繰り入れてまかなっているということで、把握をしている。

(構成員) それでも良いが、それだと載せる意味がない。収支報告書というのは、数字が合わないといけな。それが合わなくても運営しているところは、どうしてかなという疑問がでてくる。

(事務局) 通常、収入と支出というところの金額が同額で、その内訳はどうなっているかということが、記載されるべきではないかというご指摘だと思う。今後、提出をお願いする時に、その辺りの注釈を付けるなどして、書いていただくようお願いしようと思う。

(構成員) 詳しく明記した方がいい。

各団体がどういうふう運営しているのか。もしかしたら、個人のお金を入れているかもしれない。

(構成員) 誰かがどこかで、補充している、だから運営できているという流れになる。

数字というのは、貸借対照表で合わせないといけないので、必ず収入と支出が合うはず。不正をしているとかそういう話ではないが、決算上、母体の数字等がここでは分からないので、収支が合わなくなる。

(構成員) ご指摘のとおり、この事業部門の収支が合っていないくて、団体の運営自体のどこかで、その赤字部門を補填しているということで、その部分しか載せていないのは、確かにルールが一つあいまいということだと思う。

また、この福祉有償運送の事業の継続性ということを考えてときに、どれだけ赤字が出ているのか、その赤字部分を、他の介護事業とかから補填していたなどの状況は分かるようにした方が、我々もその事業の継続性をここで審議する時に分かりやすいとは思う。

収支がしっかり合っ見えるようにできないかというのは、市の方でも考えて、その方向で検討していきたい。

今後収支を合わせる形で報告書が作成できるかという点について、難しいのかどうか、意見を伺いたい。

(構成員) 北九州市地域福祉振興協会の助成金をいただくために報告書を出しているが、制度の最初の頃に、助成金をいただくためには収支報告が赤字でないと助成金はいただけない、いただける助成金の金額よりも赤字じゃないと駄目というふうに市から言われた。それで、収入と支出が合っておらず、福祉有償運送に関しては、これだけの赤字だということを各団体が示しているのだと思う。

(副会長) 収支を合わせようと思ったら、収入のところに、例えば他事業からの繰り入れとか書いたらいけないのか。それでも問題が残るのか。

(構成員) 手続き上だけの話だと思う。

地域福祉振興協会の助成金についても、市が事務局を持っているのでそこも整理しないといけないと思うが、この帳簿上赤字になっていないと助成できないというのは、他事業からの繰り入れも含めて、赤字であるというふうに我々が解釈をしっかりとできれば出せると思う。見た目がこういうふうにマイナスでないと助成金を出せないというのも不思議な話だと思う。振興協会の助成金の審査等、それを含めて整理させてもらいたいと思う。

できればやはり収支が合う形で、赤字が出ているのであれば、他事業から繰り入れとかの形で見えた方が、どれだけそういう繰り入れをして事業を運営しているかが分かるので、その点は各団体にも相談させていただきたい。

(構成員) 行政の考え方によって、変わると思う。今の話を聞くと、例えば生活保護の方が1ヶ月分もらってそれを何がしか我慢して貯蓄にまわしたときに、次は減額されるというものの考え方が行政の考え方だと思う。そこは急ないろんなことが起こるかもしれないし、サービスが低下しないよう皆さんが頑張っプラスの方向にして助成金をためて、もっと良いサービスができるようにという考えで事業を行っていると思う。

だから行政の考え方、方向性で事業はもっとやりやすくなるのではないかなと思う。

(構成員) 会社で決算の担当をしているが、複数の事業をセクションごとに切って決算を見る場合、収支のバランスが取れないところが出てくる。この事業だけをしていけば、助成金を含めた収入と支出のバランスが多分取れるのだが、単純に、複数事業の内の福祉有償運送の事業だけを切り出したときに、バランスをしない事業者とバランスする事業者が 2 種類あるのかなと思う。

事業実態によって、助成金が全くなくて本当にこれだけ赤字なんだという事業者もいれば、助成をされてバランスしている事業者もいるのかなと、数字だけ見たときにそう思った。

市の行政担当課で調整するのは必要だと思うが、雑感としてそういうふう感じた。

(構成員) 決算書を出した方がいいということか。

(構成員) そうなると、福祉有償運送の申請をするために、その他の様々な事業のことも報告しないとけないというのは、この事業の必要性を協議するのには過大な資料を求めすぎるという懸念もあるので、そこは整理をさせてほしい。

いずれにしろ、この事業でどれぐらいの赤字が出ているかということを見える化をして、必要があれば、市も今財源がない中で、補助金を増やすとは言えないが、地域振興協会からの補助金をもう少し増やさないと持続可能な仕組みにならないとか、ほかのやり方で改善の余地があるとかの議論の基礎資料になる。

そのところは今言われたように、この事業単体で見ると赤字なので、その部分はこれでマイナスになるという形の見せ方がいいのかとか、その辺は、また市の方で検討していきたい。いずれにしても事業の継続性というところがしっかり議論でき、市も審議できるような形で整理させていただきたいと思う。

(副会長) なかなか難しい問題。他の事業全体で黒字だから、補助金を出さないというのも難しいが、その点は検討してほしい。

他にないか。

(構成員) 去年も同じことを言ったと思うが、送迎収入が 1200 万、その中でボランティアへの介助費が 1100 万という団体がある。これはボランティアに渡す金額の範囲として、妥当なのかということ伺いたい。運転従事者が 10 人くらいで、年間にすると 100 万まではいかないがそれぐらいの報酬をもらっている。

(副会長) ここのボランティアは、いわゆる有償ボランティアなのか。

(構成員) 多分ここは体の不自由な方、本当に動けない方の送迎をしているので、そういう事情もあるのかなと思うが。有償ボランティアだからという回答は、ちょっと引っかかる。

(構成員) 私はボランティア協会にも所属するので、ボランティアには敏感だが、やはり年間 100 万というのは、ボランティアの範囲ではないと思う。有償ボランティアという言葉そのものがおかしいと思っている。

ボランティアという言葉ではなく他の言葉で、サポーターとか言うのであればいいのだが。ボランティアとしては、やはり多いんじゃないかと思う。

(事務局) 去年も指摘いただきながら、しっかり返しておらずすみません。

一応参考までに、この団体は延べ輸送人数が多く、令和 4 年度でいうと、年間延べ 1 万 7000 人くらい運ばれている。1 回あたりで割ると 670 円くらい。単価で計算していいのかわからないが、他の団体に比べて非常に輸送人員が多いことが理由の一つかなと思う。

ただ、それにしても一人当たりでは確かにかなりの収入にはなっているのですが、どういった基準で単価設定等をされているのか、可能な範囲で伺ってみたいと思う。その結果を次回報告したい。

(副会長) みなさん、それでよろしいか。

では、年間報告はこれで了承いただけるか。

(了承)

### 議題3 福祉有償運送実施団体の更新登録申請について

事務局から、令和5年7月6日付けて更新登録が必要な団体「社会福祉法人 まどか」について、団体から提出のあった更新申請に必要な書類の内容について説明を行い、構成員の承認を得た。

#### 【質疑応答】

(副会長) 事務局からの説明について、ご意見、ご質問はないか。

「福祉有償運送実施団体の更新登録申請」について了承いただけるか。

(了承)

#### その他

(副会長) 他に意見はないか。

(副会長) 議事とは関係ないが、以前この会議とは別に、ユニバーサルデザインタクシー(UDタクシー)とされているジャパンタクシーの件で、障害福祉団体連絡協議会の古賀構成員や北九州タクシー協会の第一交通を含めて意見交換をし、一度試乗会をして検討をしようということになった。11月19日にウェルとはたにて、障害者団体の会議があるということで、そこにジャパンタクシーを持っていき、試乗会的なことをしようかなと考えている。具体的にはまだ決まってないが、第一交通には了解をいただいている。

(構成員) 11月19日の件だが、毎年この時期に「ふれあいフェスタ」というイベントを市の人権推進センターが行っている。これに「障害者の芸術祭」というのがドッキングした形で行われており、私たちの団体もコーナーを出している。人権に関わる団体や、障害のある方及び関係者も集まるようなイベントなので、その会場の駅前で試乗会をすれば、通りすがりの一般の人も含めて、PRになると思う。

UDタクシーそのものを、障害のある当事者も知らないというような状況なので、今のように福祉有償運送だけに頼るのではなく、いろいろな選択肢があるのは当事者にとってもとてもいいことだし、これをぜひ成功させられたらと思う。タクシー協会の方でお世話いただいている。

(副会長) また何かの実行委員会で我々が集まれる場があったら、声をかけていただけるか。

(構成員) 障害者芸術祭やふれあいフェスタの実行委員会もあると思うが、それとは別にこの集まりで独立した形で会議などができればと思う。どういったメンバーでどれぐらいのスケジュールでやっていくかというのは、建築都市局の担当課長や関係者とも相談しながら案を作って進めていきたいと思う。

(副会長) 了解。他に何かご意見等はあるか。

無いようなので、事務局にお返りする。

(事務局) 次回の福祉有償運送運営協議会は、11月初旬から中旬ごろを目途に考えている。また改めて案内を差し上げる。本日はありがとうございました。